

第35期第9回理事会議事録

日 時：2009年11月25日（水）18時30分～20時30分

会 場：アクロス福岡606会議室

出席者：新野，藤谷，石田，岩崎，近藤（裕），
近藤（豊），佐藤，里村，田中（博），
中島，中村，中本，藤部，石原，伊藤，
里田，田中（省），牧原，三上，山崎，
以上20名（理事現在数27名）

欠席者：赤枝，佐々木，鈴木，住，津田，安成，
余田，以上7名

その他の出席者：西出（大会実行委員長），石原，
後藤（大会実行委員），鈴木（事務局）

議 事

議事に先立ち新野理事長より秋季大会を担当した九州支部に対して感謝の意が表明された。

1. 2010年度春季大会，2010年度秋季大会の準備状況及び今後の担当機関について

2012年度春季大会は気象研究所が，2012年度秋季大会は北海道支部がそれぞれ担当することを確認した。また，2010年度春季大会・秋季大会の準備状況について報告された。

2. 日中韓気象学会共催国際会議について

標記について無事に開催されたことが報告された。また，日中韓以外の国からの招待講演者を増やし，その費用を3ヶ国で負担することが提案され，

全会一致で承認した。

3. 第35期第2回評議員会について

第1回評議員会での提言を受けて対応について議論した。対応策は第2回評議員会で報告する。

4. 気象集誌論文賞，SOLA 論文賞について

気象集誌および SOLA に掲載された論文から優秀な論文を顕彰する論文賞を設けることについて編集委員会から提案され，全会一致で承認した。来年度から行う。

5. 委員会報告

学術…中長期ビジョンについて報告。

総合計画…地球惑星科学連合の学協会長会議について報告

気象集誌…電子投稿システムについて報告

気象災害…メソ気象研究会と共催の発表会について報告

6. J-STAGE について

標記について，現在次期システムを検討中であることが報告された。

7. 文部科学省実地検査について

標記について報告があった。

8. 2010年度事務局体制について

表記について理事長より案が示され，全会一致で承認した。

9. 各支部からの報告

北海道支部より6月と12月に支部研究会を行うことが報告された。

東北支部から10月31日に支部講演会を開催したこと及び12月に支部気象研究会を開催する予定であることが報告された。

中部支部から2011年度秋季大会の会場を名古屋大学としたことが報告された。また、8月に公開講座を開催したこと、12月に支部研究会を行う予定であることが報告された。

関西支部より2010年度秋季大会の準備状況について報告があった。また、秋季大会の経費について検討した。

九州支部より広報誌のホームページ化を行ったことが報告された。また、2009年度秋季大会の運営について報告があった。

10. 行政刷新会議の事業仕分けに関する要請について
標記について検討を行い、要請を出すことを全会一致で承認した。

平成21年12月17日

社団法人日本気象学会

議長 新野 宏

署名人 中本 能久

署名人 石田 純一